

首相演説会場で爆発

首相避難、容疑の男逮捕 和歌山

15日午前11時25分ごろ、岸田文雄首相が衆院和歌山1区補欠選挙応援のため訪れていた和歌山市の雑賀崎漁港で、街頭演説を始める前に筒状のものが投げ込まれ、爆発した。首相にけがはなく無事。県警によると、男1人を取り押さえ、威力業務妨害容疑で逮捕した。首相は演説会場を車で離れ避難し、同市内の県警本部へ移動したが、同日午後にはJR和歌山駅前で街頭演説を再開した。



岸田首相が衆院和歌山1区補欠選挙の応援演説に訪れた和歌山市の雑賀崎漁港で、発煙筒のようなものが投げ込まれ取り押さえられる男＝15日午前11時31分

首相は再開した演説 いた街頭演説を取りやめた。
「ご心配とご迷惑をおかけした。おわび申し上げます」とした上で「今、大切な選挙を行っている。皆さんの力を合わせてやり通さな」といけな」と述べた。

投げ込まれた際、首相は自民党候補者と話をしていた。筒状のものは煙を噴き上げ、放物線を描いて投げ込まれた。「ドン」という大きな爆発音とともに白い煙が上がり、会場には焦げ臭いにおいが漂い、聴衆らの悲鳴などで騒然となった。首相は同漁港で予定していた。

首相は警護官(SP)に警護され、数十メートル先の車の陰まで退避。首相は一瞬驚いた表情を見せたという。

和歌山市消防局によると、現場を調べたところ、消防車2台を出動させたが、けが人の情報は入っていない。

首相は15日、和歌山市での演説後、千葉5区補選応援で千葉県入りする。

首相は3月5日に衆院山口2、4区で衆参5補選に向けた地方行脚をスタートさせていた。